

■質問

1階束材を考慮した計算は可能ですか。

■回答 1階束材を考慮した計算は可能です。下記に示します。

・束材位置の設定

平面入力当該Znクリック → 木造基礎計算用データ → 「木造基礎計算用データ」
 平面図表示 → 束位置右クリック → 束位置指定 → 「束」文字表示



・部材要素全てに節点番号を設定

平面入力当該Znクリック → 躯体 → 平面配置 → 白画面右クリック → 解析
 モデル指定モード → 部材要素全てに節点番号



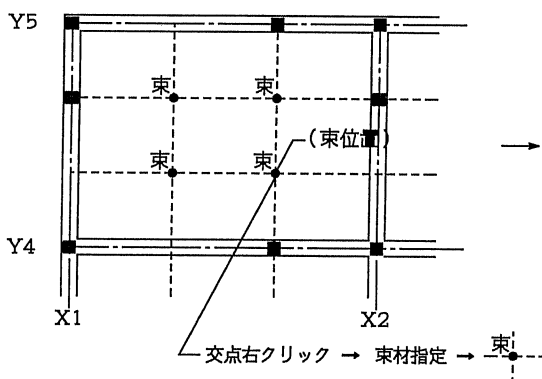
・束材を考慮した計算

束材の負担面積から負担軸力を算定し、束材が負担する重量の考慮方法を変化させて、
 計算します

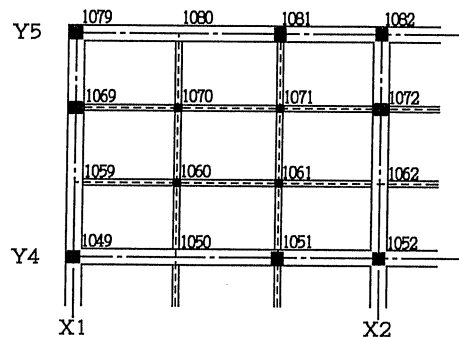
(下図参照)

(参考図) ■ ベタ基礎

[束位置指定]



[節点番号設定]



[束材位置考慮軸力算定図およびフロー]

(参考図)

[1階床の取り扱い] *1
 $1階束の負担軸力 = 1階床(固定+積載)荷重 \times 負担面積$ *2

*2 (束材の負担面積)

① 断面

フロー

```

    graph TD
        Start[1階束がある場合 (1階束を考慮する場合)] --> Decision{ベタ基礎?}
        Decision -- No (布、独立基礎) --> End1[ ]
        Decision -- Yes --> Box1[1階束の負担軸力を差し引く]
        Start --> Box2[地耐力検討用重量(常時荷重時)]
        Start --> Box3[フーチング設計用重量(常時荷重時)]
        Start --> Box4[基礎梁設計用重量(常時荷重時)]
        Box2 --> Box1
        Box3 --> Box1
        Box4 --> Box1
        Box1 --> End2[ ]
    
```

・基礎形式別、部位別により束材が負担する重量の考慮方法が異なります